

令和元年度 卸売業者の経営状況（概要）

水産物は減収減益、青果物は減収増益、花きは減収減益

〈東京都中央卸売市場の卸売業者 29 社（つけ物・鳥卵、食肉を除く）の
令和元年度（令和 2 年 3 月期）事業報告書を集計〉

○ 水産物

売上高は減少し、営業利益及び経常利益は減益となった。

- 卸売業務における取扱数量は減少、販売単価も下落した。
- 売上高は卸売業務、兼業業務いずれも減少したため、減収となった。
- 売上総利益は、兼業業務利益が増加したものの、受託販売手数料及び買付販売利益が減少したため、全体では減益となった。
- 営業利益及び経常利益は、売上総利益の減少が販売費及び一般管理費の減少よりも大きかったため、減益となった。

○ 青果物

売上高は減少し、営業利益及び経常利益は増益となった。

- 卸売業務における取扱数量は増加、販売単価は野菜が下落、果実は横ばいであった。
- 売上高は、卸売業務のうち買付物品が増加したが、受託物品及び兼業業務が減少したため、減収となった。
- 売上総利益は、買付販売利益が増加したものの、受託販売手数料及び兼業業務利益が減少したため、全体では減益となった。
- 営業利益及び経常利益は、販売費及び一般管理費が減少したため、増益となった。

○ 花き

売上高は減少し、営業利益及び経常利益は減益となった。

- 卸売業務における取扱数量は減少、販売単価は切花が下落し、鉢物は上昇した。
- 売上高は、卸売業務、兼業業務いずれも減少したため、減収となった。
- 売上総利益は、兼業業務利益が増加したものの、受託販売手数料及び買付販売利益が減少したため、減益となった。
- 営業利益及び経常利益は、売上総利益の減少が販売費及び一般管理費の減少よりも大きかったため、減益となった。

1 卸売業者数

取扱品目	卸売業者数及び本社所在地	
水産物	8社	<豊洲7、足立1>
青果物	10社	<大田3、豊洲・豊島・淀橋・板橋・世田谷 北足立・多摩NT 各1>
青果物(つけ物・鳥卵)	3社	<豊洲2、大田1>
食 肉	1社	<食肉>
花 き	7社	<大田・世田谷 各2、 北足立・板橋・葛西 各1>
合 計	29社	

2 取扱数量・売上高及び収益状況

取扱品目別	事 項	令和元年度	平成30年度	前年度比:%
水産物	取扱数量	365,179トン	377,613トン	96.71
	総取扱金額(売上高)	4,493億6,813万円	4,699億6,819万円	95.62
	売上総利益	212億8,759万円	219億1,963万円	97.12
	営業利益	4億6,448万円	6億7,045万円	69.28
	経常利益	16億3,612万円	17億1,460万円	95.42
青果物	取扱数量	1,946,830トン	1,936,496トン	100.53
	総取扱金額(売上高)	5,233億9,142万円	5,373億7,921万円	97.40
	売上総利益	358億3,347万円	367億9,047万円	97.40
	営業利益	7億2,777万円	1億1,179万円	650.99
	経常利益	12億6,973万円	8億3,199万円	152.61
花 き	取扱数量	1,445,529千本	1,509,879千本	95.74
	総取扱金額(売上高)	766億966万円	807億5,655万円	94.86
	売上総利益	74億8,767万円	78億4,864万円	95.40
	営業利益	▲5,616万円	8,910万円	-
	経常利益	1億1,948万円	2億200万円	59.15

3 総資産・負債・純資産

取扱品目	事 項	令和元年度	平成30年度	前年度比:%
水産物	総資産	969億5,392万円	1,078億9,524万円	89.86
	負 債	504億4,826万円	603億1,480万円	83.64
	純資産	465億567万円	475億8,044万円	97.74
	自己資本比率	47.97%	44.10%	-
青果物	総資産	670億7,337万円	692億4,916万円	96.86
	負 債	174億8,209万円	197億5,878万円	88.48
	純資産	495億9,128万円	494億9,038万円	100.20
	自己資本比率	73.94%	71.47%	-
花 き	総資産	182億7,482万円	200億2,418万円	91.26
	負 債	95億3,664万円	112億6,846万円	84.63
	純資産	87億3,818万円	87億5,573万円	99.80
	自己資本比率	47.82%	43.73%	-

4 各部門の比較

項目・取扱品目	水産物	青果物	花き	計
総取扱金額(売上高)	4,493億6,813万円	5,233億9,142万円	766億966万円	1兆493億6,921万円
売上総利益	212億8,759万円	358億3,347万円	74億8,767万円	646億872万円
売上総利益率	4.74%	6.85%	9.77%	6.16%
販売費及び一般管理費	208億2,310万円	351億570万円	75億4,383万円	634億7,263万円
営業利益	4億6,448万円	7億2,777万円	▲5,616万円	11億3,609万円
営業利益率	0.10%	0.14%	▲0.07%	0.11%
経常利益	16億3,612万円	12億6,973万円	1億1,948万円	30億2,533万円
経常利益率	0.36%	0.24%	0.16%	0.29%

※青果物は主たる取扱品目がつけ物・鳥卵である3社を除く。また、食肉を除く。

総取扱金額（売上高）は、青果物が5, 234億円と最も大きい。次いで、水産物が4, 494億円、花きが767億円となっている。

売上総利益率（粗利率）は、花きが9.77%、青果物が6.85%、水産物が4.74%、と花きが一番大きい。これは、総取扱金額（売上高）に占める受託販売の割合が94%を占め、受託販売手数料率も花きが一番高いことによる。

営業利益率は、各取扱品目とも、売上総利益が減少したことにより、前年度より低下している。

経常利益率は各取扱品目において営業外損益がプラスであることから、営業利益率に比して高くなっている。

<参考>

1 営業利益率

営業利益とは、会社が本業から上げる利益のこと。売上から、原材料費や仕入れ費用、販売費及び一般管理費などの本業に関わる費用を差し引いて求めたものが営業利益である。営業利益率は、企業の収益力を見るための指標であり、売上のうちのどれくらいが営業利益になるのかを見るもの。

$$\text{営業利益率} = \text{営業利益} / \text{総売上高（受託+買付+兼業）} \times 100（\%）$$

2 経常利益率

経常利益とは、営業利益に受取利息や支払利息などの経常的に発生する本業以外の損益を加減して求めたものである。営業利益と同様、企業の収益力を見る指標である。

$$\text{経常利益率} = \text{経常利益} / \text{総売上高（受託+買付+兼業）} \times 100（\%）$$

3 取扱品目別販売単価の推移

（消費税込み）単位：円

取扱品目	令和元年度	平成30年度	平成29年度	
水産物	1,129	1,147	1,115	
青果物	野菜	236	246	260
	果実	433	433	418
花き	切花	66	67	65
	鉢物	584	565	542

注1 市場統計情報の部別平均価格による

2 水産、青果の販売単価は1kgあたり

3 花き販売単価は切花は本、鉢物は鉢あたり

4 利益率の推移

単位：%

取扱品目	令和元年度	平成30年度	平成29年度	
水産物	営業	0.10	0.14	0.17
	経常	0.36	0.36	0.46
青果物	営業	0.14	0.02	0.40
	経常	0.24	0.15	0.53
花き	営業	▲0.07	0.11	0.13
	経常	0.16	0.25	0.28